

さいたま市の化学物質の排出量等の集計結果について（平成 30 年度 PRTR データ）

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（以下、「化管法」という）」に基づき、人体や生態系に影響を及ぼすおそれのある特定化学物質の環境などへの排出量・移動量を、市内事業者からの平成 30 年度分届出について、市が独自に集計した結果がまとまりましたのでお知らせします。化管法において届出対象となる化学物質は 462 物質、また、対象業種は 24 業種です。

1 平成 30 年度分の集計結果の概要

(1) 届出事業所数

さいたま市で届出のあった事業所数は、146 件（平成 29 年度：145 件）で、県内の届出事業所数の約 10%を占めています（全国 33,669 件、埼玉県 1,461 件）。

(2) 届出排出量・移動量

届出のあったさいたま市分の排出量は、全事業所・全物質の合計が約 541 トン（平成 29 年度：約 639 トン）で、県内全体の約 8%を占めています（全国約 148,188 トン、埼玉県約 6,697 トン）。移動量については、約 513 トン（平成 29 年度：約 554 トン）で、県内全体の約 6%を占めています（全国約 243,153 トン、埼玉県約 9,180 トン）。

(3) 届出排出量の多い物質

届出のあったさいたま市分の排出量の多い上位 5 物質は、①トルエン（約 460 トン）、②キシレン（約 21 トン）、③ノルマルヘキサン（約 17 トン）、④トリクロロエチレン（約 16 トン）、⑤エチルベンゼン（約 12 トン）でした。

(4) 届出移動量の多い物質

届出のあったさいたま市分の移動量の多い上位 5 物質は、①トルエン（約 287 トン）、②アセトニトリル（約 97 トン）、③キシレン（約 21 トン）、④ノルマルヘキサン（約 199 トン）⑤N,N-ジメチルホルムアルデヒド（約 16 トン）でした。

(5) 業種別の排出量・移動量

届出のあったさいたま市の排出量の多かった上位 5 業種は、①ゴム製品製造業（約 325 トン）、②金属製品製造業（約 115 トン）、③プラスチック製品製造業（約 60 トン）、④燃料小売業（約 18 トン）、⑤化学工業（約 7 トン）でした。

移動量については、①ゴム製品製造業（約 171 トン）、②医薬品製造業（約 102 トン）、③金属製品製造業（約 95 トン）、④化学工業（約 75 トン）、⑤プラスチック製品製造業（約 31 トン）でした。

(6) 行政区別の排出量・移動量

届出のあったさいたま市分の排出量の多かった上位 3 区は、①岩槻区（約 455 トン）、②北区（約 24 トン）、③南区（約 23 トン）でした。

移動量については、①岩槻区（約 217 トン）、②桜区（約 139 トン）、③北区（約 124 トン）でした。

(7) ダイオキシン類の排出・移動状況

届出のあったさいたま市分の排出量は約 14mg-TEQ で、移動量は約 2,700mg-TEQ でした。

※ 毒性等量（TEQ）とは、ダイオキシン類の中の最も毒性の強い 2,3,7,8-テトラクロロジベンゾ-パラ-ジオキシンに換算した量を毒性等量（TEQ）といいます。

2 届出状況

(件)

業種	西区	北区	大宮区	見沼区	中央区	桜区	浦和区	南区	緑区	岩槻区	総計
パルプ・紙・紙加工品製造業										2	2
化学工業	2	1		1		4		1		1	10
プラスチック製品製造業		2						1		3	6
ゴム製品製造業										2	2
なめし革・同製品・毛皮製造業										1	1
鉄鋼業		1									1
金属製品製造業		5			2	1				5	13
輸送用機械器具製造業					1					1	2
精密機械器具製造業		1									1
医薬品製造業	1	1									2
医療用機械器具・医療用品製造業				1							1
その他の製造業			1	1						1	3
下水道業							1				1
鉄道業			1								1
燃料小売業	8	12	3	13	8	7	5	7	9	10	82
洗濯業			1							1	2
計量証明業								1			1
一般廃棄物処理業 (ごみ処分業に限る。)	2			2		1			3		8
産業廃棄物処分業										1	1
医療業							1				1
高等教育機関			1			1					2
自然科学研究所			1		1			1			3
合計	13	23	8	18	12	14	7	11	12	28	146

3 市内の届出排出量・移動量

市内の事業所から届出のあった総排出量が約 541 トン、総移動量が約 513 トンで、その合計の総排出量・移動量が約 1,055 トンでした。

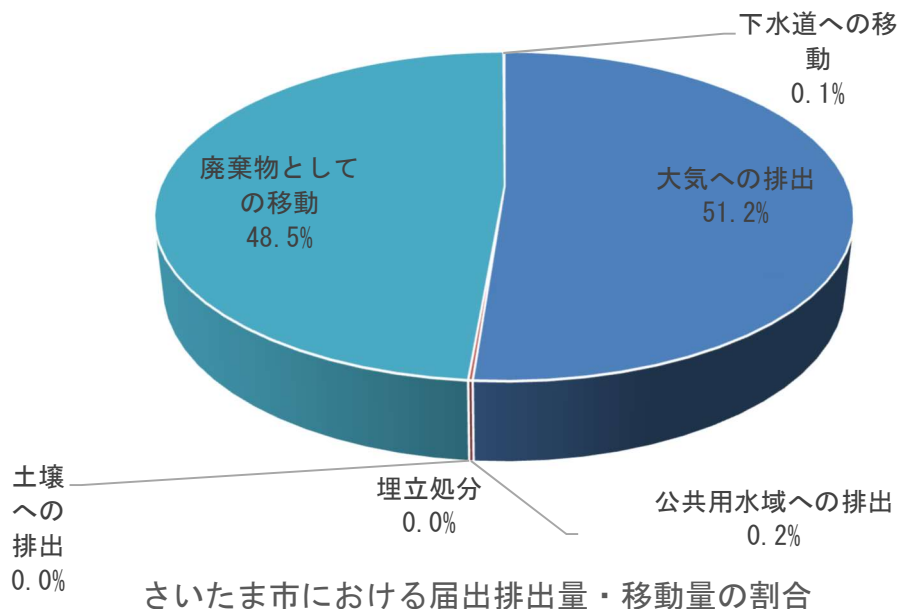
排出量の内訳は、大気への排出が約 540 トン、公共用水域への排出が約 1.8 トン、土壌と埋立への排出はありませんでした。

また、移動量の内訳は、廃棄物としての移動が 512 トン、下水道への移動が約 0.8 トンでした。

(t/年)

	さいたま市	埼玉県	全国
総排出量	541 (639)	6,697	148,188
大気への排出	540 (636)	6,481	134,603
公共用水域への排出	1.8 (3.0)	216	7,142
土壌への排出	0 (0)	0	2
埋立処分	0 (0)	0	6,441
総移動量	513 (554)	9,180	243,153
廃棄物としての移動	512 (552)	9,147	242,262
下水道への移動	0.8 (1.5)	33	891

カッコ内数値は平成 29 年度分の集計結果

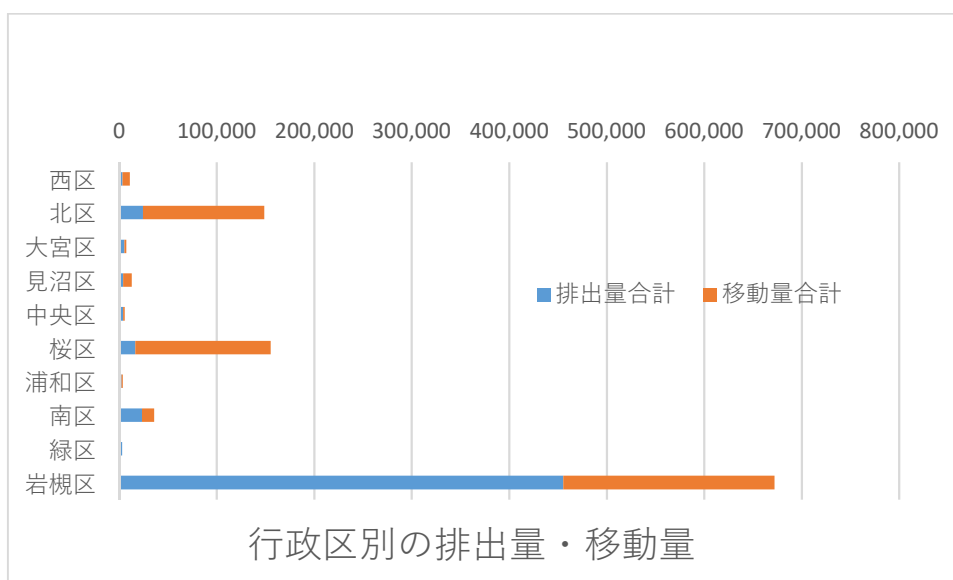


4 行政区別の排出量・移動量

(kg/年)

行政区	報告事業所数	排出量					移動量			排出・移動量合計
		大気	水域	土壌	埋立	排出量合計	下水道	廃棄物	移動量合計	
西区	13	3,178	134	0	0	3,312	0	7,515	7,515	10,827
北区	23	24,267	0	0	0	24,267	770	123,715	124,485	148,752
大宮区	8	5,414	0	0	0	5,414	0	1,820	1,820	7,234
見沼区	18	3,874	17	0	0	3,890	0	8,800	8,800	12,690
中央区	12	4,066	0	0	0	4,066	5	1,400	1,405	5,472
桜区	14	16,421	35	0	0	16,455	46	138,800	138,846	155,301
浦和区	7	895	1,519	0	0	2,414	0	1,200	1,200	3,614
南区	11	23,330	0	0	0	23,330	0	12,400	12,400	35,730
緑区	12	2,846	56	0	0	2,902	0	0	0	2,902
岩槻区	28	455,353	16	0	0	455,369	5	216,842	216,847	672,216
合計	146	539,644	1,777	0	0	541,419	826	512,492	513,318	1,054,738

(有効数字の関係上、各合計と内訳の合計が異なる場合があります。)



5 業種別の排出量・移動量

(kg/年)

業種	報告 事業所数	排出量						移動量				排出量・ 移動量
		大気	水域	土壌	埋立	排出量合計	構成比	下水道	廃棄物	移動量合計	構成比	
パルプ・紙・紙加工品製造業	2	830	16	0	0	846	0.2%	5	13	18	0.0%	864
化学工業	10	7,192	35	0	0	7,227	1.3%	46	75,252	75,298	14.7%	82,525
医薬品製造業	2	36	0	0	0	36	0.0%	770	101,200	101,970	19.9%	102,006
プラスチック製品製造業	6	60,430	0	0	0	60,430	11.2%	0	31,297	31,297	6.1%	91,727
ゴム製品製造業	2	325,800	0	0	0	325,800	60.2%	0	170,550	170,550	33.2%	496,350
なめし革・同製品・毛皮製造業	1	850	0	0	0	850	0.2%	0	0	0	0.0%	850
鉄鋼業	1	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0
金属製品製造業	13	115,200	0	0	0	115,200	21.3%	5	95,460	95,465	18.6%	210,665
輸送用機械器具製造業	2	2,610	0	0	0	2,610	0.5%	0	12,000	12,000	2.3%	14,610
精密機械器具製造業	1	0	0	0	0	0	0.0%	0	13,000	13,000	2.5%	13,000
医療用機械器具・医療用品製造業	1	6	0	0	0	6	0.0%	0	0	0	0.0%	6
その他の製造業	3	1,380	0	0	0	1,380	0.3%	0	1,800	1,800	0.4%	3,180
下水道業	1	0	1,519	0	0	1,519	0.3%	0	0	0	0.0%	1,519
鉄道業	1	3,410	0	0	0	3,410	0.6%	0	0	0	0.0%	3,410
燃料小売業	82	18,052	0	0	0	18,052	3.3%	0	0	0	0.0%	18,052
洗濯業	2	1,190	0	0	0	1,190	0.2%	0	2,320	2,320	0.5%	3,510
計量証明業	1	2,300	0	0	0	2,300	0.4%	0	0	0	0.0%	2,300
一般廃棄物処理業 (ごみ処分量に限る。)	8	0	207	0	0	207	0.0%	0	0	0	0.0%	207
産業廃棄物処分量	1	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0
医療業	1	0	0	0	0	0	0.0%	0	1,200	1,200	0.2%	1,200
高等教育機関	2	119	0	0	0	119	0.0%	0	5,800	5,800	1.1%	5,919
自然科学研究所	3	238	0	0	0	238	0.0%	0	2,600	2,600	0.5%	2,838
合計	146	539,644	1,777	0	0	541,419		826	512,492	513,318		1,054,738

(有効数字の関係上、各合計と内訳の合計が異なる場合があります。)

6 市内の届出排出量・移動量の多い物質

(一般的な用途)	
トルエン	合成原料、ガソリン成分、溶剤
酢酸 2-エトキシエチル	塗料、溶剤
アセトニトリル	合成原料、溶剤
キシレン	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤
エチルベンゼン	合成中間体、溶剤、ガソリン成分
ノルマル-ヘキサン	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤
トリクロロエチレン	代替フロン原料、金属の脱脂洗浄、溶剤
N,N-ジメチルホルムアミド	溶剤、触媒、ガス吸収剤
スチレン	重合原料 (樹脂など)

届出排出量と移動量の上位 10 物質

(kg/年)

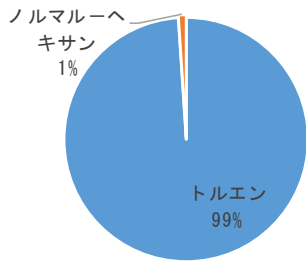
順位	排出量		移動量	
	物質名	排出量 (合計)	物質名	移動量 (合計)
1	トルエン	459571	トルエン	286950
2	キシレン	20524	アセトニトリル	96620
3	ノルマル-ヘキサン	16764	キシレン	21350
4	トリクロロエチレン	15502	ノルマル-ヘキサン	19912
5	エチルベンゼン	12156	N, N-ジメチルホルムアミド	16000
6	1, 2, 4-トリメチルベンゼン	5965	ニッケル化合物	13424
7	1, 3, 5-トリメチルベンゼン	2107	石綿	13000
8	酢酸 2-エトキシエチル	1554	エチルベンゼン	10740
9	スチレン	1531	塩化メチレン	7000
10	テトラクロロエチレン	1192	マンガン及びその化合物	7000
	上記以外	4555	上記以外	21322
	合計	541420	合計	513319

(有効数字の関係上、合計と内訳の合計が異なる場合があります。)

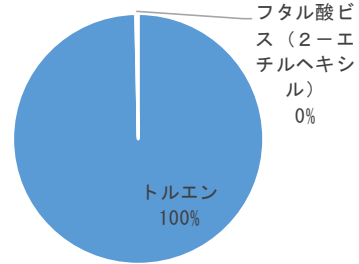
7 主な業種の上位物質

(kg/年)

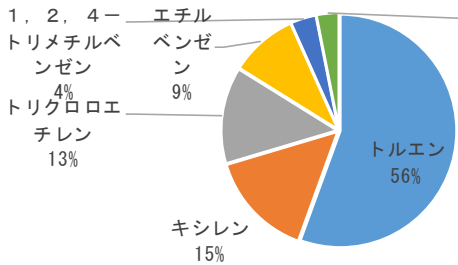
業種	排出量		移動量	
	物質名	排出量 (合計)	物質名	移動量 (合計)
ゴム製品製造業	トルエン	322400	トルエン	170000
	ノルマル-ヘキサン	3400	フタル酸ビス (2-エチルヘキシル)	550
金属製品製造業	トルエン	64000	トルエン	61400
	キシレン	17100	キシレン	19700
	トリクロロエチレン	15500	エチルベンゼン	9750
	エチルベンゼン	10900	ニッケル化合物	1400
	1, 2, 4-トリメチルベンゼン	4100	クロム及び三価クロム化合物	1000
	その他の物質	3600	その他の物質	2210
医薬品製造業	クロロホルム	2.7	アセトニトリル	95900
	ノルマル-ヘキサン	15	ノルマル-ヘキサン	3000
	アセトニトリル	18	クロロホルム	2300
プラスチック製品製造業	トルエン	59440	トルエン	24000
	スチレン	540	スチレン	4400
	エチルベンゼン	300	フタル酸ジアリル	1200
	キシレン	100	キシレン	780
	ポリ (オキシエチレン) =アルキルエーテル	34	エチルベンゼン	620
	その他の物質	16	その他の物質	297.4
化学工業	トルエン	4178.9	トルエン	28550
	キシレン	907.7	N, N-ジメチルホルムアミド	16000
	エチルベンゼン	792.3	ノルマル-ヘキサン	15008.9
	スチレン	331	マンガン及びその化合物	7000
	アクリル酸ノルマル-ブチル	221	塩化メチレン	5500
	その他の物質	760.9	その他の物質	3193



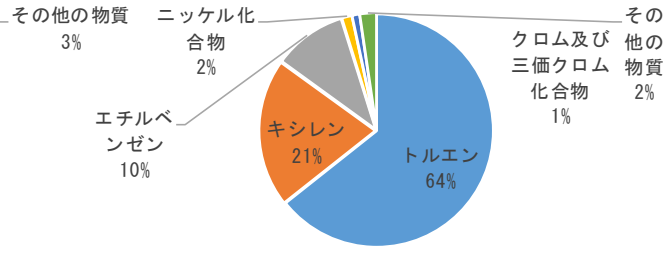
ゴム製品製造業／移動量



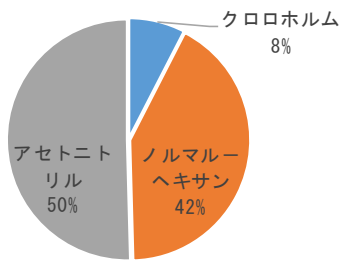
ゴム製品製造業／排出量



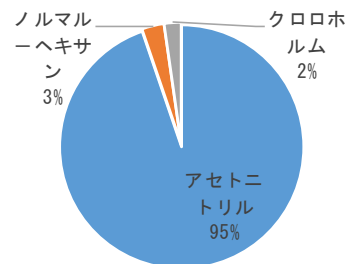
金属製品製造業／移動量



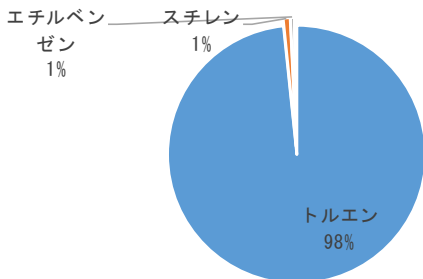
金属製品製造業／排出量



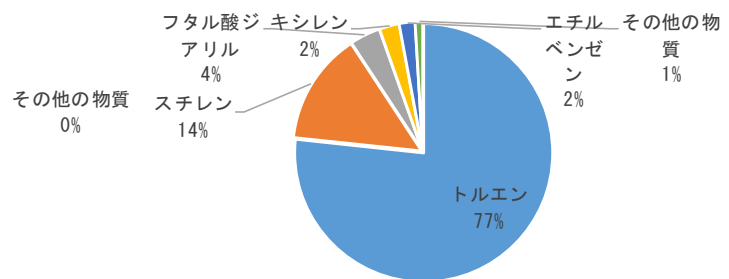
医薬品製造業／移動量



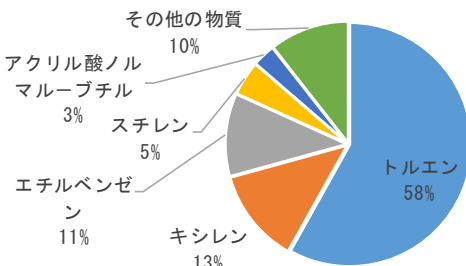
医薬品製造業／排出量



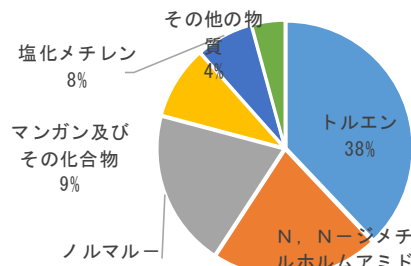
プラスチック製品製造業／移動量



プラスチック製品製造業／排出量



化学工業／移動量



化学工業／排出量

8 行政区別の排出量上位物質

(kg/年)

西区	
トルエン	1643
ノルマル-ヘキサン	1291
ベンゼン	124
キシレン	78
ふっ化水素及びその水溶性塩	51

北区	
トリクロロエチレン	7900
トルエン	5413
キシレン	4947
エチルベンゼン	3758
ノルマル-ヘキサン	1181

大宮区	
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	1706
キシレン	912
トルエン	884
テトラクロロエチレン	690
スチレン	660

見沼区	
ノルマル-ヘキサン	1904
トルエン	1459
キシレン	271
ベンゼン	178
エチルベンゼン	28

中央区	
トルエン	2358
ノルマル-ヘキサン	835
キシレン	764
ベンゼン	82
エチルベンゼン	14

桜区	
トルエン	10280
キシレン	3049
エチルベンゼン	1215
ノルマル-ヘキサン	946
アクリル酸ノルマル-ブチル	220

浦和区	
ノルマル-ヘキサン	518
トルエン	277
ほう素化合物	170
亜鉛の水溶性化合物	160
E P N	160

南区	
トルエン	19655
ノルマル-ヘキサン	3117
エチルベンゼン	313
キシレン	149
ベンゼン	80

緑区	
ノルマル-ヘキサン	1685
トルエン	846
ベンゼン	159
キシレン	104
エチルベンゼン	27

岩槻区	
トルエン	416756
キシレン	10219
トリクロロエチレン	7600
エチルベンゼン	6767
ノルマル-ヘキサン	4769

9 ダイオキシン類の届出排出量・移動量

業種別届出排出量・移動量(届出のあった業種)

(mg-TEQ/年)

	届出件数	排出量	移動量	排出量・移動量 合計
化学工業	1	2.1	0.2	2.3
その他の製造業	1	2	0.1	2.1
燃料小売業	1	0.02	0	0.02
一般廃棄物処理業	8	9.6	2700	2700
産業廃棄物処分業	1	0	0	0
合計	12	14	2700	2700

(有効数字の関係上、各合計と内訳の合計が異なる場合があります。)

※ TEQ:毒性等量

ダイオキシン類の中の最も毒性の強い 2, 3, 7, 8-テトラクロロジベンゾ-パラ-ジオキシンに換算した量を毒性等量(TEQ)といいます。